

緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No. 12

令和4年8月12日

台風第8号が接近中！！

大雨・強風・フェーン対策を実施しましょう！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

8月12日3時に日本の南海上で台風第8号が発生しました。今後の進路や発達によっては、県内への強い風雨が懸念されます。

現在、「はえぬき」等の中生品種は乳熟期となっていて、「つや姫」等の晩生品種は出穂期を迎えています。

大雨での浸冠水やフェーン現象、強風等の影響による白穂発生への注意が必要です。



(台風第8号の予想経路図 気象庁 8月12日9時現在)

1 大雨対策

大雨で冠水した場合は、葉先や穂先だけでも水面に出すよう、安全を十分確保した上で、速やかに排水を行いましょう。

台風の接近前に水路のゴミや泥の除去を行うなど、スムーズな排水が可能となるよう努めましょう。

2 強風、フェーン対策

台風に伴う強風やフェーン現象が起こると、急激な蒸散が起こって稲体の消耗が大きくなることから、降雨の予報内容に関わらず、台風の接近前に可能な限り湛水しましょう。出穂前後の穂は、白穂になる恐れが特に強いため、必ず湛水します。

3 台風通過後の対応

- (1) 浸水や冠水の被害を受けた場合、排水後は、土壌中の酸素が不足しているので、新しい水と交換します。晩生等の品種で出穂期となっているほ場では、穂揃期まで湛水管理を行います。中生等の品種で、穂揃期以降のほ場では、こまめに間断かん水を行い稲体及び根の活力維持を図ります。
- (2) 濁水が冠水した場合や、強風で稲体の損傷や倒伏が発生した場合は、病害虫の発生が懸念されるので、直ちに防除を行います。
- (3) 浸水や冠水で泥が大量に流入した場合は、排水後に速やかにほ場の額縁及び条間に、泥をかき分けるように作溝を行い、新しい用水を入れます。
- (4) 浸水時の早い流れや土砂の勢いで倒伏した場合、株起しを行うことで生育が回復する場合がありますので、可能であれば実施します。

安全第一！

台風通過中の悪天候時は、ほ場等の見回りは行わないようにしてください！